

年 頭 の ご 挨拶

愛知県自動車車体整備協同組合 理事長 金原正和

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい令和5年の新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

令和4年は、緊迫の状態が続くロシアによるウクライナ侵攻、急速に進む円安の影響もあり小麦粉や原油などの原材料価格が一段と跳ね上がり、私たちの暮らしや経済にも影響が重くのしかかっています。しかも、いまだクライナ危機の出口は見えず、電力事情、エネルギー調達のあり方が大きくクローズアップされました。厳しさが増す安全保障環境や温暖化による異常気象、そのうえ3年以上たっても終息しない新型コロナウイルスなど、厳しい局面に陥っている日本経済は、先行きに影を落としまさに国難ともいえる状況です。

一方自動車業界は、「電動化」「自動化」「コネクテッド」「シェアリング」などへと急速に変化し、100年に一度の大変革期を迎えています。

また、2010年10月、日本政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを宣言しました。多くのCo2を排出する自動車産業がカーボンニュートラルへの実現のカギとなっているため、電化や水素化といったCo2を排出しないエネルギーへの転換を進め、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

こうした日進月歩の進化続ける自動車に対して、車体整備業界においては、これまで以上に広範囲な知識と、技術が求められています。愛車協としても先進技術に対応すべく、さらなる高度化・活性化に向けた取り組みを推進してまいります。

また、事業の一環として教育事業では、各種研修会など拡充させ、優れた知識、技能を有する人材を育成することにより、車体整備技術の向上を図り、さらに業界の信頼を確立させるとともに、愛車協を支えていただいている組合員の皆様への期待に応えられるよう努めてまいります。

7年目となります日車協連の「先進安全自動車対応優良車体整備事業者」の自主認定制度の取得については、安心・安全な車体整備を提供する業界団体及び事業所として、自動車ユーザーやステークホルダーから適切に評価されるよう努めてまいります。

特定整備認証制度が施行され今年で4年目を迎え、12月の時点で組合員の約73%（95社）が電子制御装置整備認証を取得しました。車体整備業界として電子制御装置整備の対応が必要不可欠であり、引き続き全組合員が特電子制御装置整備認証を取得できるよう全力を挙げて取り組み、事業の拡大に繋げるよう尽力してまいります。

最後になりますが、組合員、賛助会員及び関係団体皆様方の益々の発展とご活躍を祈念するとともに、今後とも役員一同、より一層努力してまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。この新しい年がより佳年になるよう心より祈念致しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、本年も組合員、賛助会員及び関係団体皆様方の益々の発展とご活躍を祈念するとともに、役員一同、精一杯頑張りますので一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。この新しい年がより佳年になるよう心より祈念致しまして、私からの年頭の挨拶とさせていただきます。

